



豊島区教育ビジョン2010

豊島区教育振興基本計画

平成22年(2010年)3月

豊島区教育委員会



はじめに

豊島区教育委員会
教育委員長 加藤正克



平成18年12月、制定から60年を経て教育基本法が全面改正されました。今回の改正では、旧教育基本法の普遍的な理念を継承しながら、道徳心、自律心、公共の精神の育成を規定するとともに、新たに、家庭教育の支援や幼児教育の充実に光を当てています。

また、同法や学校教育法の改正を受けて、平成20年3月には新しい幼稚園教育要領と学習指導要領が告示され、幼稚園については平成21年度から、小・中学校についても平成23年度以降それぞれ完全実施に移ります。

こうした状況を背景に、平成19年3月に策定した「豊島区教育ビジョン」の改定を進め、このたび「豊島区教育ビジョン 2010—豊島区教育振興基本計画—」を策定いたしました。

改定にあたっては、現行教育ビジョンの実施状況を検証して引き継ぐとともに、新学習指導要領の指導内容にそって施策を見直し、尚且つ現在の教育を取り巻く状況を概観して課題を抽出し、重点施策を整理いたしました。

また、今後10年間の豊島区の教育振興に関する基本計画という位置づけから、「教育都市としま」の実現を謳い、自治体間競争のなかで様々な施策を積極的に展開している豊島区の行政運営を視野に置きながら教育施策を進めていくことにしました。

教育の充実が、豊島区の魅力となり「住んでみたいまち、高い教育力をもつまち」として区民の信頼を得、「夢に向かって 未来を切り拓く としまの子」の育成に向かって学校、家庭、地域、行政が共に汗を流してまいりたいと思います。

今後とも、関係各位のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成22年3月

目 次

第1章 計画の概要	1
1 計画の性格と位置づけ.....	1
2 豊島区の教育環境の概要.....	2
3 計画の構成.....	5
4 計画期間と進行管理.....	6
第2章 計画の基本的な考え方	7
1 「教育都市としま」の実現に向けて.....	7
2 教育目標と計画が目指す「子ども像」.....	7
3 子ども像を実現するための教師像と学校像及び期待される家庭の役割と地域の役割.....	8
第3章 豊島区教育ビジョン（平成19年3月策定）の実施状況	9
I 教育内容の充実.....	9
II 教育環境の充実.....	13
第4章 豊島区の教育をめぐる懸案課題・重点課題	17
1 新学習指導要領の完全実施に向けた円滑な移行措置の実施.....	17
2 生きる力の基礎を培う幼児教育の充実.....	18
3 学校改築計画の円滑・着実な推進.....	19
4 教育環境の整備・充実.....	19
5 豊島区独自の教育指導内容の研究・展開.....	20
第5章 施策分野とその方向	21
I 教育内容の充実.....	21
1 「確かな学力」の育成.....	21
2 「豊かな人間性」の育成.....	23
3 「健やかな心と体」の育成.....	24
4 未来を切り拓くとしまの子の育成.....	26
II 教育施策推進体制の充実.....	28
1 教師力の向上.....	28
2 地域に信頼される学校運営.....	30
3 質の高い教育環境の整備・充実.....	31

第6章 分野別実施施策	33
I 教育内容の充実	33
1 「確かな学力」の育成.....	33
(1) 各教科等における知識・技能の習得・活用	(2) 課題解決的な学習・探究的な活動の充実
(3) 言語活動の充実	(4) 理数教育の充実
(5) 外国語教育の充実	
(6) 学習意欲の向上・学習習慣の確立	
2 「豊かな人間性」の育成.....	37
(1) 心の教育の充実	(2) 体験活動の充実
(3) 伝統・文化を尊重する教育の充実	
3 「健やかな心と体」の育成.....	39
(1) 体力の向上	(2) 体育・健康教育の充実
(3) 食育の推進	
4 未来を切り拓くとしまの子の育成.....	41
(1) 幼児教育の充実と幼・保・小・中一貫教育プログラムの推進	(2) 都市型環境教育の推進
(3) ICT活用能力の育成	(4) キャリア教育の推進
(5) 特別支援教育の充実	(6) 小学校英語活動の充実
II 教育施策推進体制の充実	45
1 教師力の向上.....	45
(1) 「教育都市としま」を担う若手教員の育成	(2) 授業力の向上
(3) 子どもと向き合うための教員への支援	
2 地域に信頼される学校運営.....	47
(1) 開かれた学校づくりの推進	(2) 地域人材等の活用の推進
(3) 特別支援教育・教育相談体制の充実	(4) 家庭教育支援の充実
(5) 安全・安心な学校づくりの推進	
3 質の高い教育環境の整備・充実.....	50
(1) 学校図書館の整備・充実	(2) 学校情報環境の整備・充実
(3) 小規模校の支援策の充実	(4) 教育センターの学校支援機能の充実
(5) 学校改築計画の推進	
[施策体系と実施施策].....	53
第7章 計画の推進に向けて	57
1 計画の着実な推進.....	57
2 関連計画との連携.....	59
〈参 考〉	61
1 実施施策の事業実績 [第3章関連].....	61
2 平成21年度「豊島区教育ビジョン」改定の経過.....	73

第1章

計画の概要

第1章 計画の概要

1 計画の性格と位置づけ

(1) 豊島区教育ビジョン（平成19年3月策定）の見直し

平成19年3月策定の「豊島区教育ビジョン」（以下「現行教育ビジョン」という。）は、計画期間が平成19年度から平成23年度までの5年間であり、3年目にあたる平成21年度に見直しを行い、また、学習指導要領が改訂されたときには適切な時期に見直しを行うこととなっている。

「豊島区教育ビジョン2010」（以下「新教育ビジョン」という。）の策定は、現行教育ビジョンの改定という性格をもち、基本的には現行教育ビジョンを継承しながらも、実施状況を点検して必要な見直しを行うとともに、新しい学習指導要領を踏まえた取り組みや今日的な教育課題に対する取り組みを取り込んだものとした。

(2) 新たな豊島区教育振興基本計画としての策定

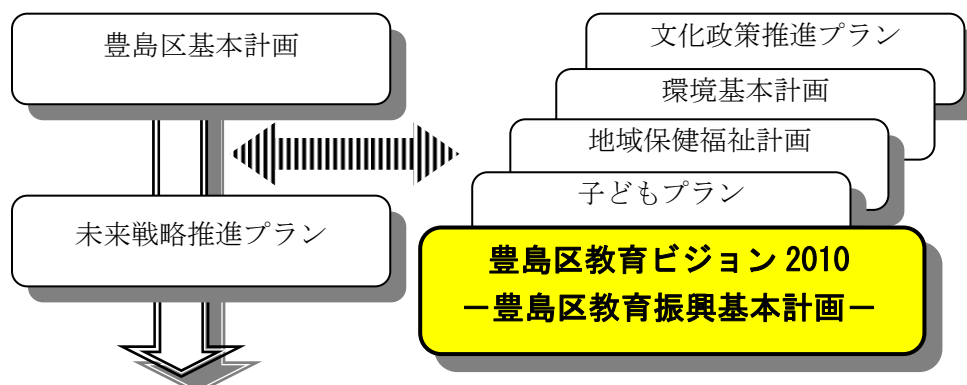
新しい教育基本法（平成18年12月改正）では、各地方公共団体は、国の教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じ、教育の振興のための施策の基本的な計画を定めるよう努めなければならないこととしている。

この新教育ビジョンは、豊島区の学校教育の振興施策に関する基本計画と位置づけることとし、学校改築や教育環境の整備・充実も取り込んだ計画とした。

(3) 豊島区基本計画（平成18年3月）の分野別計画の位置づけ

豊島区基本計画は、24の政策分野ごとに施策の展開に関する基本方針を示して計画を推進していくことにしている。新教育ビジョンは、豊島区基本計画の「子どもをともに育むまち」分野の施策推進に関する計画という位置づけをもつものであり、関連する分野別計画と連携しながら計画を推進していく必要がある。

<図表1> 豊島区基本計画と豊島区教育ビジョン2010、及び他の分野別計画



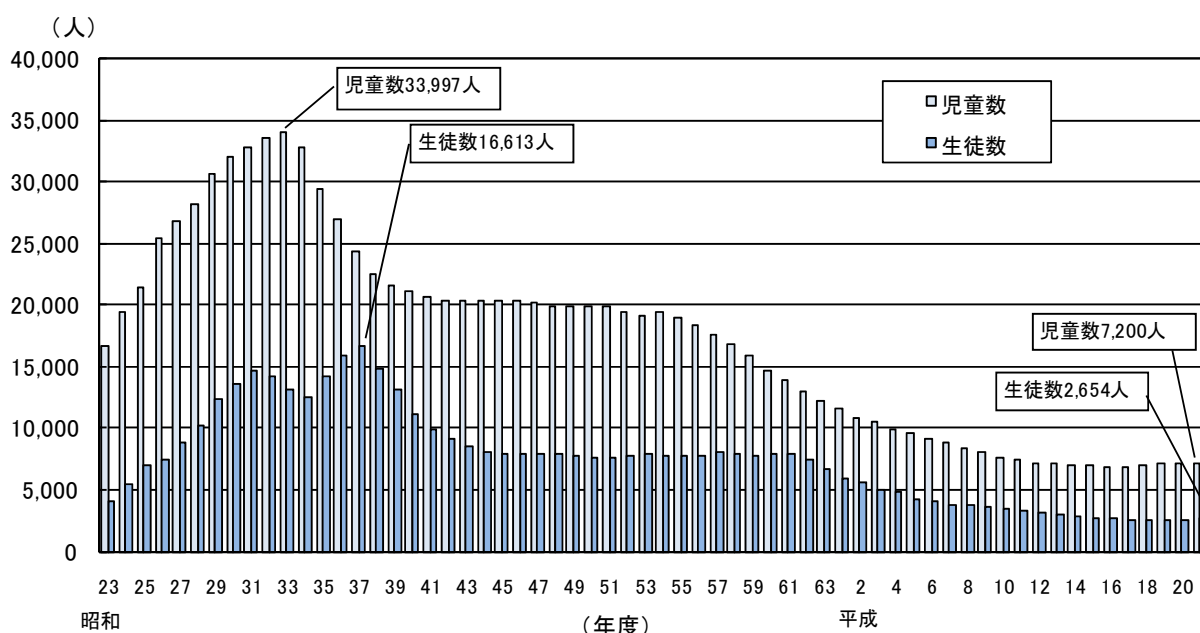
2 豊島区の教育環境の概要

(1) 豊島区の児童・生徒数の推移

本区の児童（小学生）・生徒（中学生）の数は、児童が昭和33年度の33,997人、生徒が昭和37年度の16,613人をピークに減少の一途を辿っており、平成21年度には、児童がピーク時の約5分の1（7,200人）、生徒が約6分の1（2,654人）となっている。

ここ10年間は、なだらかな減少傾向で推移し、平成17年度からは微増傾向に移っているが、全体としては横ばいの状況にある。

<図表 2> 豊島区立学校の児童・生徒数の年度推移



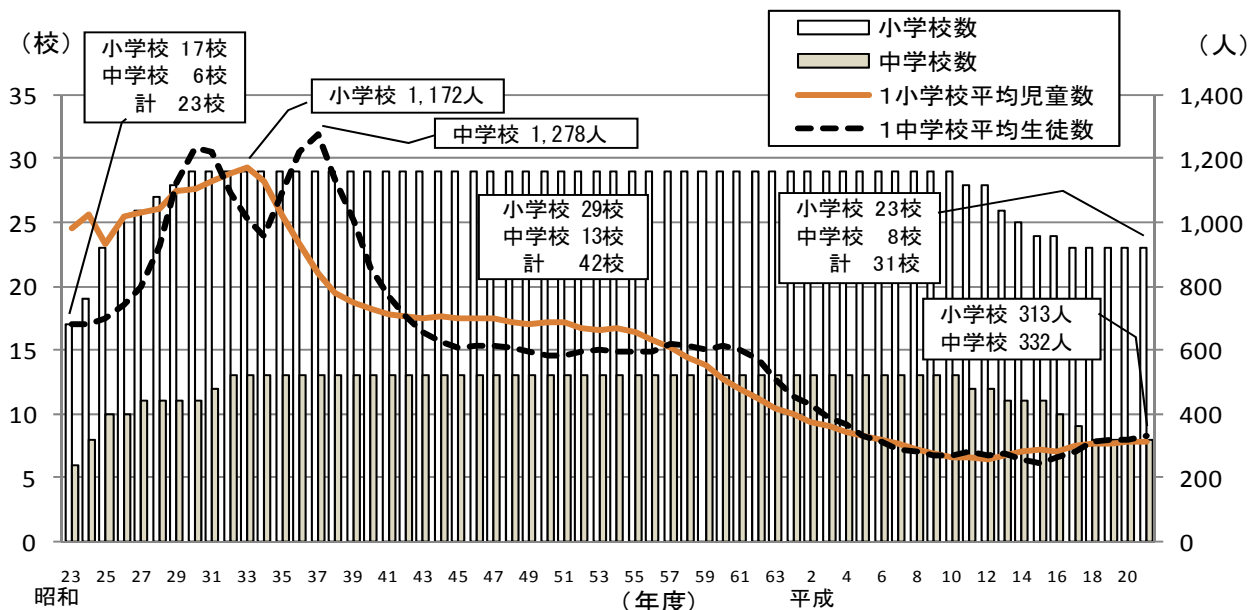
※ 数値は「資料が語る教育豊島の一世紀」による

(2) 豊島区立小・中学校数の推移

区立小・中学校数は、昭和20年代の児童・生徒数の急増にあわせて増加し、昭和33年度に小学校29校、中学校13校の合計42校となった。この校数は、平成11年度に「区立小・中学校の適正化第一次整備計画」による統合が始まるまで続き、第一次整備計画による統合で、現在は小学校23校、中学校8校の合計31校になっている。

また、児童・生徒数の減少に伴い、区立小・中学校の1校あたりの平均児童・生徒数も減少している。統合の結果、平成21年度は、小学校が313人（1学年平均52人、1学年平均2クラス）、中学校は332人（1学年平均111人、1学年平均3クラス）となっている。これは、最少人数であった平成12年度（小学校）・平成15年度（中学校）よりやや増加したものの、昭和30年代半ばから後半にかけて最大人数であった時の約4分の1という状況である。

<図表 3> 豊島区立学校数、1校あたり平均児童・生徒数の推移

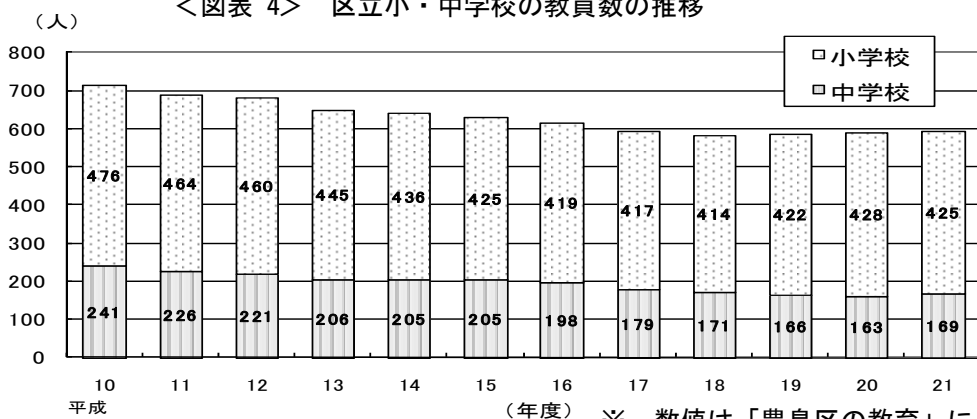


※ 数値は「資料が語る教育豊島の一世紀」による

(3) 豊島区立小・中学校の教員数の推移

区立小・中学校の教員数は、児童・生徒数に比例して推移しており、10年間の教員数は、なだらかに減少している。平成21年度は、小学校425人、中学校169人の合計594人であり、1校あたりの平均教員数は、小学校18人、中学校21人である。教員数は、校長・副校長を含んでいるため、小学校では実質1学年3人に満たない状況にある。

<図表 4> 区立小・中学校の教員数の推移



※ 数値は「豊島区の教育」による

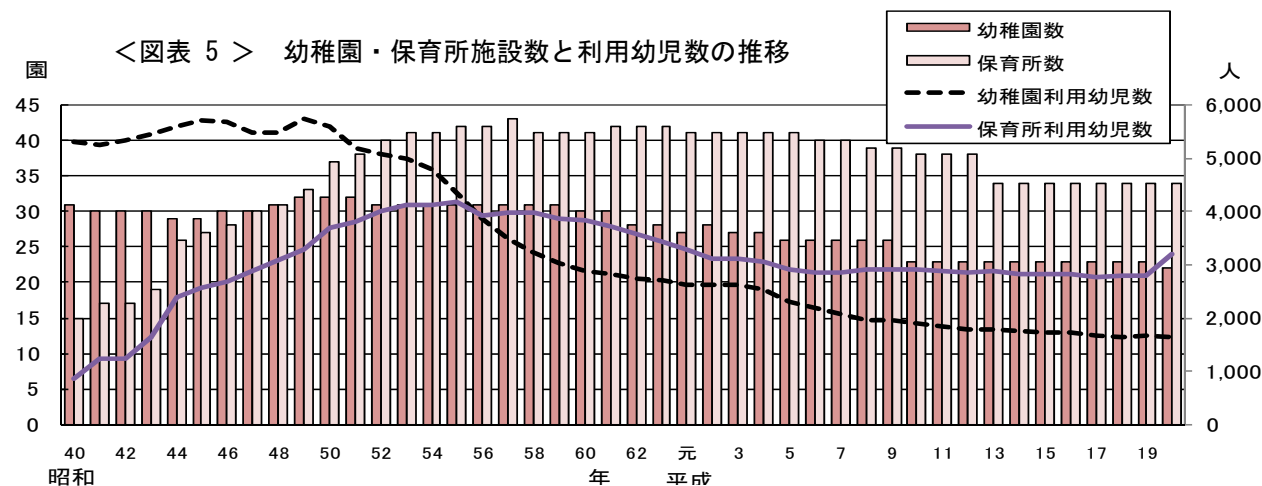
(4) 豊島区の幼稚園幼児数・幼稚園数の推移

本区の幼稚園の幼児数と施設数の推移を、保育所幼児数と保育所数と比較すると図表5のようになる。

幼稚園幼児数は、昭和40年代後半から減少する一方で保育所幼児数は増加している。昭和50年代後半からは、乳幼児数の減少に伴い全体数が減少しており、中でも幼稚園幼児数の減少が著しい。ここ数年は保育所幼児数が急激に伸びてきており、保育所の待機児は増加の一途を辿っている。

施設数については、昭和40年代後半から保育所数が増大し、保育所数が幼稚園数を上回る状況が続いている。平成元年以降は、幼稚園、保育所とも減少したが、ここ数年の保育所待機児の急増に伴い保育所の増設が課題になっている。

区立幼稚園は、昭和40年代半ばから、民間幼稚園を補完する位置づけで3園設置され、40人定員で5歳児の1年保育をスタートし、平成2年度から5年度にかけて4歳・5歳の2年保育に移行し、定員数を各歳児30人として現在に至っている。しかしながら、近年は区立幼稚園で定員を割り込む状況が続いている。



※ 保育所利用幼児数の数値の昭和40年～55年までは定員数（「豊島の統計」より）
 ※ 保育所数は4月1日、幼稚園数は5月1日の施設数（「豊島の統計」より）

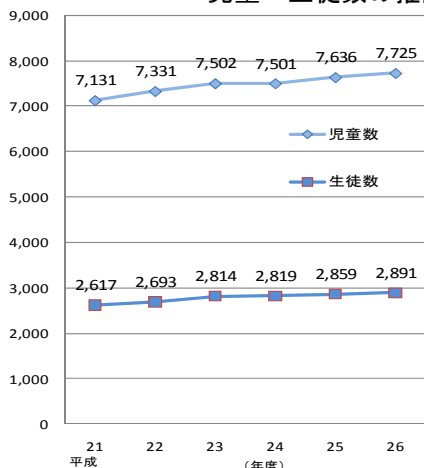
（5）東京都教育人口推計（平成21年9月、平成22～26年度の5年間）

平成22年度から26年度までの東京都の教育人口推計は、東京都全体では児童数（小学生）はほぼ横ばい、生徒数（中学生）は微増傾向の見込みとしている。

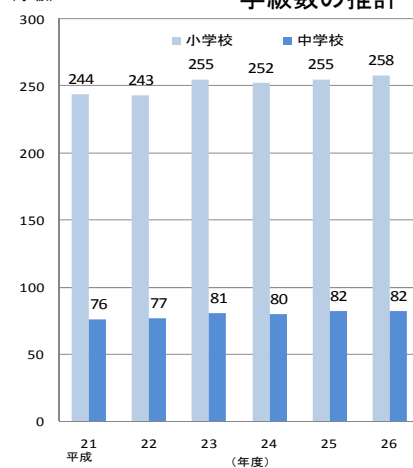
本区では、グラフのように児童数・生徒数ともに微増傾向で、26年度には21年度の数値に比較して、児童数は8.3% 594人の増、生徒数は10.5% 274人の増、学級数は小学校が14学級、中学校は6学級増と推計されている。

新規の集合住宅建設に伴う児童数・生徒数の動きについては、過去3カ年の平均出現率が、小学校で3.3%、中学校で0.6%であり、児童・生徒数の推計に大きな影響を及ぼしてはいない。

＜図表 6＞ 豊島区立小・中学校 児童・生徒数の推計



＜図表 7＞ 豊島区立小・中学校 学級数の推計



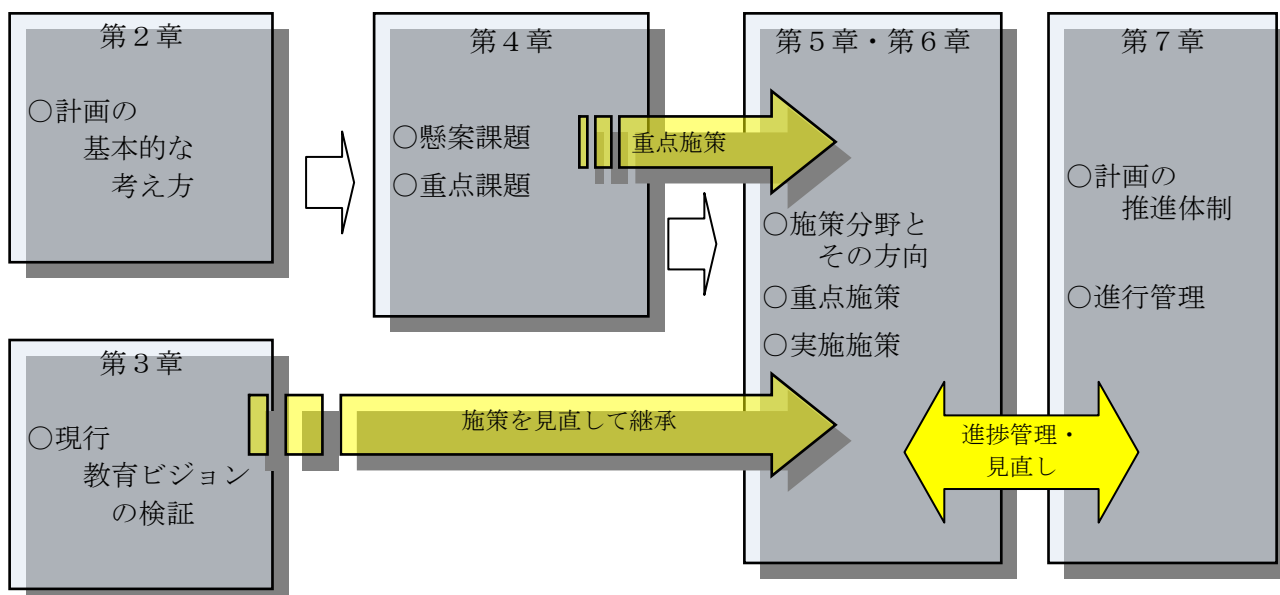
※ 数値は東京都教育庁作成「平成21年度教育人口等推計報告書」による（通常の学級対象）
 ※ 21年度の数値は実数

3 計画の構成

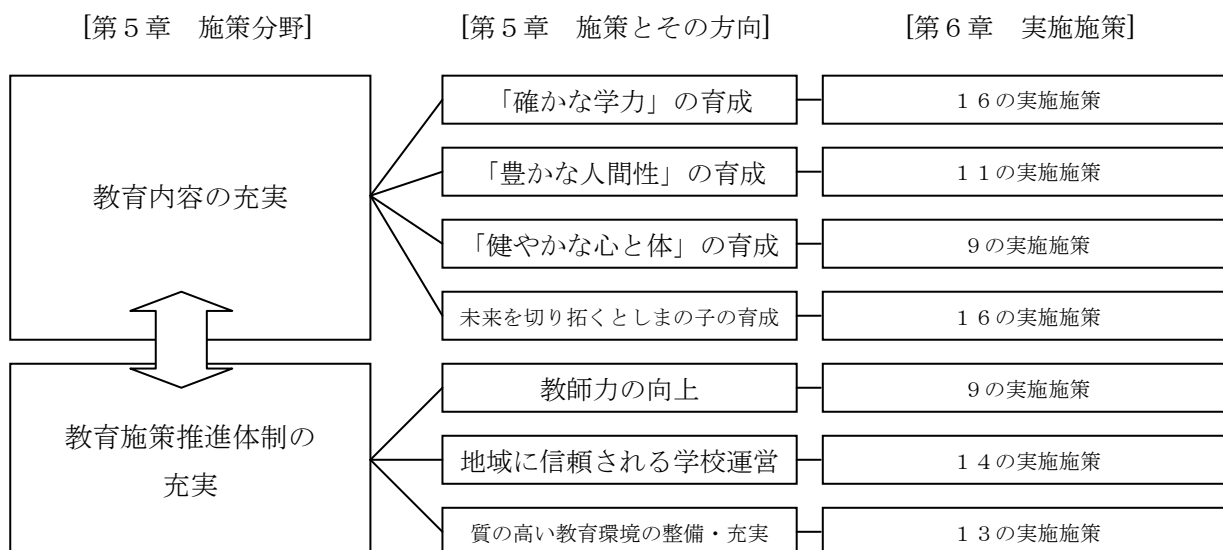
新教育ビジョンの計画構成は、第2章で計画の基本的な考え方及び教育目標と計画が目指す「子ども像」等について述べ、第3章には、現行教育ビジョンの実施状況を検証・評価した結果を掲載した。第4章は、近年の本区の教育を取り巻く懸案課題として計画の前期5年間で重点的に取り組む内容を整理した。

また、第5章では新教育ビジョンの計画に掲げる施策分野とその方向について、「教育内容の充実」と「教育施策推進体制の充実」の2分野に分け、それぞれの基本となる施策とその方向を示し、重点施策を整理した。第6章では施策の方向ごとに今後10年間で実現していく具体的な実施施策を掲げ、第7章では、計画の推進体制や進行管理について記述した。

＜図表 8＞ 計画全体の構成



＜図表 9＞ 第5章・第6章の構成



4 計画期間と進行管理

計画期間は、平成22年度から平成31年度までの10年間とし、5年目に見直しを行うものとする。

計画の進捗は、毎年、学校等の協力を得て管理し、実施状況を把握していくとともに、重点となる施策は未来戦略推進プランに盛り込み推進していく。

<図表 10> 新教育ビジョンの計画期間（平成22年度～平成31年度、5年目に計画内容を見直す）

年 度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
計 画	豊島区 基本構想																
	豊島区基本計画																
教 育 関 係 年 譜	教育としま改革プラン21																
	豊島区教育ビジョン																
	豊島区教育ビジョン2010 ー豊島区教育振興基本計画ー																
教 育 関 係 年 譜	18年12月 改正教育基本法 公布・施行																
	20年7月 国の教育振興基本計画 閣議決定																
	21年4月 幼稚園新教育要領 全面実施 小・中学校新学習指導要領 先行実施																